

演劇/SPAC シアタースクール 2019 発表会

オフェリアと影の一座

Ophelias Schattentheater

構成・演出：中野真希

原作：ミヒャエル・エンデ

『オフェリアと影の一座』（矢川澄子訳/岩波書店刊）

Dramatization rights licensed by AVA International GmbH, München

出演：静岡県内の中学校1年生から高校2年生/41名

アシスタント：春日井一平、片岡佐知子、佐藤ゆず

永井健二、ながいさやこ（五十音順）

<稽古>

日程：2019年7月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)・

15日(月祝)・20日(土)・21日(日)・

23日(火)～8月16日(金)

各日 13:00～17:00

※8月16日(金)12:00～18:00 16:00～通し稽古を予定

場所：静岡芸術劇場リハーサル室、静岡芸術劇場

<発表会>

日時：2019年8月17日(土)・18日(日) 各日 16:00 開演

会場：静岡芸術劇場

上演時間：70分（予定）



タイトルロゴ・イラスト：吉田真衣子（静岡デザイン専門学校3年）

■中学校1年生から高校2年生までの41名が、 県内各地から集結！

SPACでは、専属劇団による舞台芸術の創造や上演とともに、多様な形での「人材育成・支援活動」を事業の重要な柱に据えており、「SPACシアタースクール」もそのひとつです。学校では触れる機会の少ない演劇の面白さや奥深さを、地域の子どもたちをはじめ、保護者の方々にも知っていただくことを目的として2007年に始まった本事業は、今年で13年目を迎えました。

県内各地から集まった中学校1年生から高校2年生までの41名の参加者たちは、世界の舞台で活躍するSPACの俳優による指導のもと、発声練習や台本を使った稽古はもちろん、スズキ・トレーニング・メソッド（前SPAC芸術総監督・鈴木忠志が考案した俳優訓練法）にも取り組み、舞台に立つための身体づくりから学んでいます。



2017年発表会『オフェリアと影の一座』（撮影：猪熊康夫）

■演劇で駆け抜けるアツイ夏—— 大きく成長する子どもたちに注目！

今年の上演作品は、2012・2017年に続き3度目となる『オフェリアと影の一座』です。エンデのファンタジックで演劇へのオマージュに溢れた名作絵本が、子どもたちのエネルギーと瑞々しい感性で、静岡芸術劇場に蘇ります。また劇中劇では、動きとセリフを分けて演じる「言動分離」のスタイルで、シェイクスピアの傑作喜劇『真夏の夜の夢』にも挑戦します。

1か月間のプログラムを通して、人それぞれの感じ方や考え方の違いに気付き、精神的にも大きな成長を遂げた子どもたちが、舞台の上で全身を使って力いっぱい表現する、その輝きをぜひご覧ください。

SPAC シアタースクール 2019『オフェリアと影の一座』についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、「静岡県舞台芸術センター 広報担当：内田」までお願いいたします。

Tel:054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp

■あらすじ

オフェリアさんは、小さな町の小さな劇場で、舞台の上の役者たちをささえる仕事をしていました。やがて閉じられることになった劇場でさいごの舞台を終えたあと、オフェリアさんは誰もいない舞台の奥でひとりの「影」に出会います。やさしいオフェリアさんのもとに次々と集まりはじめる、行き場のない影法師たち。自由自在に変身できる彼らとともに、オフェリアさんは世界を旅してお芝居を続けてゆき…。

■演出家プロフィール

中野真希 (なかの まさき)

1991年劇団「ク・ナウカ」に入団、俳優活動とともに新人公演の演出を手掛ける。2006年よりSPACに在籍し、『王女メディア』、『マハーバーラタ〜ナラ王の冒険』などに出演。宮城聡 (SPAC芸術総監督) の演出補を務めながら、07年より中高生のための演劇学校「SPACシアタースクール」を主導。主な演出作に『モモ』、『東海道四谷怪談』など。



■原作者プロフィール

ミヒャエル・エンデ *Michael Ende* (1929-1995)

児童文学作家。1929年、ドイツ南部の町ガルミッシュで生まれる。俳優学校を卒業したのちに本格的に作家活動を開始し、戯曲、詩、小説を創作。1960年『ジム・ボタンの機関車大冒険』を発表し、ドイツ児童文学賞を受賞。その後、『モモ』、『はてしない物語』などを発表。現代社会を鋭く見つめて描かれた作品は、児童文学の枠を超え、世代や国境を越えて世界中に愛読されている。『モモ』は1974年にドイツ児童文学賞ほか国内外の文学賞を受賞、同作の日本語版は150万部を突破し、ドイツ語版に次いで多く読まれている。

チケット料金 チケット販売中！

一般：1,000円

高校生以下：無料 (要予約・電話窓口予約のみ)

チケット購入方法

SPACチケットセンター

◎電話予約：TEL.054-202-3399 (10:00~18:00)

◎ウェブ予約：https://spac.or.jp/ticket

◎窓口販売：静岡芸術劇場チケットカウンター

セブンイレブンでの販売

店内のマルチコピー機をご利用ください。

稽古の様子



静岡芸術劇場に近い静岡市駿河区池田にある人気ベーカリー「池田の森ベーカリーカフェ」とコラボして、上演作品にちなんだオリジナルのパンを製作しました。公演当日、静岡芸術劇場1Fロビーにて販売します！【数量限定】

主催・製作：SPAC - 静岡県舞台芸術センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

ふじのくに芸術祭共催事業

SPAC シアタースクール 2019『オフェリアと影の一座』についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、「静岡県舞台芸術センター 広報担当：内田」までお願いいたします。

Tel:054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp